

令和3年度福岡県市町村地方公営企業会計決算（速報）について （政令市を除く）

1 事業数及び決算規模

- 事業数は、174事業（前年度から増減なし）。
決算規模は、前年度に比べ23.5億円（1.3%）減少して1,727.5億円となった。

（単位：億円）

	令和2年度		令和3年度		増減(R3年度-R2年度)	
	事業数	決算規模	事業数	決算規模	事業数	決算規模
法適用	134	1,751.0	134	1,727.5	±0	▲23.5
法非適用	40		40		±0	
計	174	-	174	-	±0	-

（注1）地方公営企業法の適用の有無による分類。法適用企業では、民間企業と同様に発生主義に基づく複式簿記で経理。

（注2）事業数は、各年度とも3月31日現在。

2 損益の状況

- 法適用企業における経常損益、法非適用企業における収益的収支が赤字の事業は31事業（前年度比3事業増）。

3 資金不足比率の状況

- 地方公営企業に係る資金不足額が生じた事業は、前年度と同様の1事業で、小竹町の病院事業。医師不足及び新型コロナウイルス感染症の影響に伴う入院患者数の減少（延べ入院患者数 R1：10,132人→R2：6,216人→R3：6,170人）による入院収益の悪化が継続しているものの、新型コロナウイルスワクチン接種による収入や新型コロナウイルス感染症関連の国庫補助金により収益が増加し、資金不足比率は前年度より改善した。

（単位：百万円）

団体名	事業名	資金不足額	資金不足比率(%)	経営健全化基準(%)	【参考】事業の規模
小竹町	病院	61.4	14.9	20.0	410.2

（注）資金不足比率＝資金不足額／事業の規模

※ 資金不足比率が経営健全化基準以上である場合には、経営健全化計画を議会の議決を経て策定し、公表すること等が義務付けられている。

4 企業債発行額・企業債残高の状況

- 令和3年度の企業債発行額は278.8億円（前年度比13.1%減）。
- 令和3年度末の企業債残高は5,248.1億円（前年度比2.3%減）。

5 主な法適用企業の決算概要（〔 〕内の金額は経常損益）

- 水道事業…増収減益〔56.2億円の黒字（前年度比7.1億円の黒字減）、経常収支比率111.4〕
- 病院事業…減収増益〔7.1億円の黒字（黒字化：R2は2.2億円の赤字）、経常収支比率104.4〕
- 下水道事業…増収増益〔58.4億円の黒字（前年度比4.2億円の黒字増）、経常収支比率111.4〕

（注）経常収支比率は「（経常収益／経常費用）×100」で算出。普通会計と異なり、100を超えると黒字を意味する。